

公益社団法人 日本天文学会

2015年度事業報告書

I. 出版物の刊行（定款第2章第5条2項に該当の事業）

1. 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan) : 第67巻2号-6号、第68巻1号の計6回刊行。総論文数135編(うちLetter6、Computational Astrophysics 特集6、VERA 特集6、Subaru 特集16)、総頁数1,873頁、発行部数900部、偶数月の25日発行。
2. 天文月報 : 第108巻5号-12号、第109巻1号-4号を刊行。総頁数922頁、総目次10頁、発行部数3,400部、毎月20日発行。
3. 年会予稿集:2015年秋季年会発行総頁数309頁、450部印刷。2016年春季年会発行総頁数327頁、400部印刷。
4. ジュニアセッション : 春季講演予稿集184頁、500部印刷。

II. 年会の開催（定款第2章第5条1項に該当の事業）

1. 2015年秋季年会
2015年9月9日(水)から11日(金)の3日間、甲南大学(兵庫県)にて口頭講演会場9、ポスター会場12を使って開催した。講演件数は口頭講演が422件、ポスター講演が215件の合計637件、年会参加者は895名であった。本年会では、特別セッション1件(「SKA計画の概要とSKAが拓く天文学」)、企画セッション2件(「ガンマ線天文台CTAで切り拓く次世代の高エネルギー天文学」、「Transformational science and technology with the SKA」)、ジュニアセッション、天文教育フォーラムを行った。また保育室を開設した。年會に先立ち9月8日(火)に記者発表(講演2件)を行った。9月12日(土)に公開講演会を開催し、約90名が来場した。懇親会は9月10日(木)に行い、出席者は292名であった。
2. 2016年春季年会
2016年3月14日(月)から17日(木)の4日間、首都大学東京(東京都)にて口頭講演会場9、ポスター会場12を使って開催した。講演件数は口頭講演が422件、ポスター講演が251件での合計673件、年会参加者は1045名であった。本年会では、特別セッション2件(「ミリ波サブミリ波高空間分解能観測が切り拓く天文学」、「新しいSPICAが目指す天文学」)、企画セッション4件(「東京大学アタカマ天文台のサイエンス戦略」、「プラズマ宇宙物理」、「計算科学による惑星形成・進化・環境変動研究の新展開」、「2020年代に向けたニュートリノ天文学の新展開」)、ジュニアセッション、天文教育フォーラム、林忠四郎賞・研究奨励賞受賞記念講演を行った。また保育室を開設した。年會に先立ち3月12日(土)に記者発表(講演2件)を行った。3月13日(日)に公開講演会を開催し、約70名が来場した。懇親会は3月16日(木)に行い、出席者は139名であった。

III. 代議員総会・理事会・会員全体集会及び監査（定款第6-8章第36-57条に該当の事業）

1. 代議員総会

日 時 : 2015年5月31日(日) 13:00~15:00
場 所 : 東京八重洲ホール201号室(東京都中央区)
議 長 : 櫻井 隆 (議事録は学会ホームページに掲載)

日 時 : 2015年9月10日(木) 11:30~12:25
場 所 : 甲南大学 岡本キャンパス1号館3F(兵庫県神戸市)

議長：市川 隆（議事録は学会ホームページに掲載）

日時：2016年1月10日（日） 13:00～17:00

場所：東京八重洲ホール 701号室（東京都中央区）

議長：市川 隆（議事録は学会ホームページに掲載）

日時：2016年3月15日（火） 11:40～12:30

場所：首都大学東京 南大沢キャンパス 1号館 201教室（東京都八王子市）

議長：市川 隆（議事録は学会ホームページに掲載）

2. 理事会

日時：2015年5月10日（日） 13:00～16:00

場所：東京八重洲ホール 612号室（東京都中央区）

議長：櫻井 隆（議事録は学会ホームページに掲載）

日時：2015年5月31日（日） 15:15～16:40

場所：東京八重洲ホール 201号室（東京都中央区）

議長：市川 隆（議事録は学会ホームページに掲載）

議決日：2015年8月4日（火）

方法：メールによる電磁的決議

議長：市川 隆（議事録は学会ホームページに掲載）

日時：2015年9月9日（水） 19:00～20:30

場所：甲南大学 岡本キャンパス 3号館 7F（兵庫県神戸市）

議長：市川 隆（議事録は学会ホームページに掲載）

日時：2015年12月20日（日） 13:00～17:00

場所：東京八重洲ホール 302号室（東京都中央区）

議長：市川 隆（議事録は学会ホームページに掲載）

日時：2016年3月14日（月） 18:45～20:25

場所：首都大学東京 南大沢キャンパス 1号館 207教室（東京都八王子市）

議長：市川 隆（議事録は学会ホームページに掲載）

3. 会員全体集会

日時：2015年9月10日（木） 16:00～17:00

場所：甲南大学 岡本キャンパス 1号館 3F（兵庫県神戸市）

司会：山下卓也

日時：2016年3月15日（火） 15:45～16:45

場所：首都大学東京 南大沢キャンパス 1号館 2F203教室（東京都八王子市）

司会：山下卓也

4. 公益社団法人 2014 年度監査

日 時：2015 年 4 月 27 日（月）15:00～17:00

場 所：国立天文台三鷹キャンパス解析研究棟 1F 院生セミナー室（東京都三鷹市）

出席者：郷田直輝、尾中 敬、熊谷紫麻見、松尾 宏、本原顕太郎、中村文隆、西野洋平事務長、亀井久治公認会計士（オブザーバー）

IV. 委員会など（「日本天文学会委員会等に関する細則」に準拠）

本年度は以下の 18 の委員会と 1 の顧問において構成メンバー（任期 2 年の 1 年目）により各種活動が行なわれた。

◇ 欧文研究報告編集顧問

編集顧問会議を 2015 年 12 月 2 日に東京大学(本郷)で開催した。今後の招待レビューや特集企画、投稿促進の方策などについて検討を行った。「投稿の手引き」改訂のための WG を設け、方針を話し合い作業を進めた。

◇ 欧文研究報告編集委員会

2015 年度は、201 編の論文が投稿され、WEB 投稿査読システムを用いて査読手続を行った。刊行規模は、通常号を 6 回発行、掲載論文総数 135 編、総頁数は 1,873 頁であった。特集は、Computational Astrophysics、VERA、Subaru の 3 つを掲載。紙版は 68 巻 1 号より希望者のみへ配布することになった。IAU 総会(2015 年 8 月・ホノルル)に於いてブース出展を行うと共に、これに因んで特集論文の期間限定フリーアクセス化を実施した。2015 年 12 月 3 日に編集委員会を東京大学・本郷にて開催し、レター論文の上限頁数変更、論文の質向上の為の対応、日ごろの査読手続における問題などを議論した。

◇ 天文月報編集委員会

月に一度、スカイプを用いて編集会議を開催し、天文月報の編集作業を行った。5 つの特集（データベース天文学、東アジア天文台、「すざく」10 周年、光・赤外線天文学大学間連携、SEEDS 特集(1)）と「祝・梶田隆章先生ノーベル賞受賞」を組み、今後の特集の計画等を検討した。

◇ 年会実行委員会

秋季年会(2015 年 9 月 9 日～11 日・甲南大学)および春季年会(2016 年 3 月 14 日～17 日・首都大学東京)を開催した。両年会の準備にあたっては、2015 年 6 月 30 日および 2016 年 1 月 15 日に年会実行委員会を国立天文台において開き、プログラムを編成した。

◇ 天文教育委員会

年会時の公開講演会と天文教育フォーラム（共催）を開催した。次年度以降開催分についても準備を開始した。講師紹介プログラムは本年度 6 件紹介し 3 件成立した。日本学術会議物理学委員会からの求めに応じ、「大学教育の質保証のための教育課程の編成基準」天文学分野の素案を策定、提出した。系外惑星命名イベントを含め、天文教育に関する各種協力要請に精力的に対応した。

◇ 選挙管理委員会

第 4 期代議員(任期:2016 年度～2019 年度)の選挙を定款及び代議員選挙施行細則に則り行った。2015 年 11 月 10 日～12 月 10 日を投票期間とし、2015 年 12 月 11 日に開票作業を行い、代議員選

挙施行細則第 10 条により、得票順に 19 名を代議員とし、次点 2 名を補欠代議員として選出した。以上の選挙結果を天文月報 2016 年 2 月号に報告した。

◇ 推薦委員会

第 4 期代議員（任期：2016 年度～2019 年度）の選挙について、代議員選挙施行細則第 7 条に則り、候補者の推薦を行った。具体的には、会員から広く候補者の推薦を募るため、2015 年 9 月 18 日～10 月 5 日に候補者の推薦を受け付けた。受け付け締め切り後、本委員会で代議員候補として被推薦者の選出を行い、その結果を 2015 年 10 月 15 日に選挙管理委員会へ報告した。

◇ 林忠四郎賞選考委員会

天文月報 2015 年 9 月号並びに tennet で、林忠四郎賞受賞候補者の推薦と欧文研究報告論文賞候補論文の推薦を 11 月 10 日締切で会員に依頼した。12 月 5 日に選考委員会を東京大学大学院理学系研究科ビッグバン宇宙国際研究センターで開催し、林忠四郎賞候補 1 件、欧文研究報告論文賞候補論文 2 篇を選出し、2016 年 1 月 10 日に開催された代議員総会に推薦した。

◇ 研究奨励賞選考委員会

天文月報 2015 年 9 月号並びに tennet で第 27 回研究奨励賞候補者の推薦を会員に依頼した。2015 年 12 月 12 日に選考委員会を国立天文台三鷹キャンパスで開催し、候補者 3 名を選出し、2016 年 1 月 10 日に開催された代議員総会に推薦した。

◇ 天体発見賞選考委員会

天文月報 2015 年 9 月号で天文功労賞候補者推薦を会員に依頼した。2015 年 12 月 26 日に開催された選考委員会で、天体発見賞 7 氏 1 グループ（2 氏）25 件、天体発見功労賞 5 氏 6 件、天文功労賞（長期部門）1 氏 1 件、天文功労賞（短期部門）2 氏 2 件の候補を選出し、2015 年 1 月 10 日に開催された代議員総会に推薦した。

◇ 内地留学奨学金選考委員会

天文月報 2015 年 7 月号並びに tennet で 2016 年度の内地留学奨学金奨学生の募集を行ったが、応募がなかったため「該当者なし」とした。

◇ 早川幸男基金選考委員会

若手海外学術研究援助の募集・選考を、第 89 回から 92 回までの 4 回実施した。応募 43 件から 20 件を選び、採択率は 47%であった。援助総額は約 418 万円であった。昨年度（応募 50 件、採択 19 件、採択率 38%、462 万円）より応募が減ったが採択件数を維持した結果、採択率が上昇した。本会会員の佐藤明達氏より当基金へ寄付を頂いた。ここに深く感謝いたします。

◇ ネットワーク委員会

メールサーバ、年会のサーバを含む事務所内計算機を常に適正な状態に保持し、重要データ等のバックアップを適切に行った。また現ホームページの定期的アップデート作業に加えて、将来の全面的なりニューアルに向けての掲載情報の見直しも行った。

◇ 天文教材委員会

2015 年秋の年会（甲南大）において委員会を開催し、小中高校へ向けた天文教材の開発と配布の検討を行った。

◇ ジュニアセッション実行委員会

秋季年会にて、ジュニアセッションのポスター講演を行い、2件のポスター発表が行なわれた。春季年会にて第18回ジュニアセッションを開催、予稿集を発行した。口頭及びポスター発表64件、ポスター発表20件の合計84件の発表が行なわれた。参加者は、生徒や教員など300名、タイからの生徒や引率など22名、一般参加者78名、及び、学会参加者、合計450名であった。

◇ 男女共同参画委員会

例年開催されている「女子中高生夏の学校」において、天文教育委員会と共同で、埼玉大学生の協力を得て、中高生・教諭向けに天文学に関する研究説明、進学・キャリア相談、天体観望会を行った。主催団体の「男女共同参画学協会連絡会」には、オブザーバー学会として引き続き在籍することを決めた。秋季年会では、天文教育委員会、キャリア支援委員会と共同して、天文教育フォーラム「天文学会員のためのキャリア支援を考える」の企画を行い、当日の運営を行った。また春季年会にて「女性天文研究者の会」が主催した夕食講演会（8名出席）を共催した。

◇ 衛星設計コンテスト推進委員会

主催団体の一つとして、第23回衛星設計コンテストを実施した。最終審査会が2015年11月14日に東京都千代田区にある一橋大学一橋講堂で開催され、一次審査を通過した17件の発表と質疑応答があった。審査の結果、日本天文学会賞を大阪大学大学院チームの新惑星探査衛星「SORA」に授与した。

◇ キャリア支援委員会

秋季年会時の天文教育フォーラムにて天文教育普及研究会と共催で「天文学会員のためのキャリア支援を考える」を企画した。春季年会ではキャリア支援企画のひとつとして、天文・天体物理若手の会と協力して、年会に参加している大学院生とポスドクに対する「進路相談コーナー」を設置した。

◇ 全国同時七夕講演会実施委員会

5月19日にTV会議を用いて委員会を開催し、本年度の実施体制等を確認した。これまで京都大学で運用していたサーバを学会での運用に移管し、これを用いて本年度の七夕講演会を実施した。

V. 各賞の授与（定款第2章第5条7項に該当の事業）

2015年度日本天文学会各賞は、2016年1月10日に開催された代議員総会で以下のように決定し、春季会員全体集会で授与した。

◇ 天体発見賞 [7氏1グループ (2氏) 25件]

・板垣公一氏 16件：

超新星2015Aの発見、超新星PSN J10491665-1938253の発見、超新星2015Kの発見、超新星2015Mの発見、超新星PSN J22460504-1059484の発見、超新星2015abの発見、超新星PSN J02513304+3730434の発見、超新星2015aeの発見、新星V5669 Sgrの発見、超新星PSN J10520833+3256394の発見、新星V1831 Aq1の発見、超新星2015baの発見、超新星2015bdの発見、超新星PSN J12265018+1615496の発見、超新星PSN J15502534+1856075の発見、超新星2015bfの発見

・小嶋 正氏 1件：

新星V1535 Scoの発見

・西山浩一氏、椛島富士夫氏 2件：

- 新星V5667 Sgr の発見、新星V2949 Oph の発見
- ・櫻井幸夫氏 1 件 :
新星 V2944 Oph の発見
- ・嶋 邦博氏 2 件 :
超新星 2015G の発見、超新星 2015bb の発見
- ・野口敏秀氏 1 件 :
超新星2015I の発見
- ・藤川繁久氏 1 件 :
新星V5850 Sgr の発見
- ・西村健市氏 1 件 :
超新星 2015as の発見
- ◇ 天体発見功労賞 [5 氏 6 件]
- ・西村栄男氏 2 件
新星 V5667 Sgr の独立発見、新星 V5850 Sgr の独立発見
- ・高尾 明氏 1 件
新星 V5669 Sgr の独立発見
- ・中村祐二氏 1 件
新星 V5669 Sgr の独立発見
- ・藤川繁久氏 1 件
新星 V2949 Oph の独立発見
- ・山本 稔氏 1 件
新星 V5850 Sgr の独立発見
- ◇ 天文功労賞 [3 氏 3 件]
- 長期的な業績
- ・永井和男氏
「長期にわたる変光星の観測、自作ソフトウェアの公開、及び変光星観測者の育成指導」
- 短期的な業績
- ・佐藤英貴氏
「IAU 小惑星センターの PCCP にある 1 つの天体を 51P/ハリントン彗星の D 核と世界で初めて同定」
- ・向井 優氏
「新しい Period Bouncer 候補矮新星 PNV J12124012+0416563 の発見」
- ◇ 林忠四郎賞 [1 氏]
- 宮崎 聡 (みやざき さとし) 氏 : 国立天文台・准教授
研究の表題「すばる望遠鏡用広視野カメラの開発と、それを用いた観測的宇宙論の推進」
- ◇ 欧文研究報告論文賞 [2 編]
- ・論文題目 : Photopolarimetric Monitoring of Blazars in the Optical and Near-Infrared Bands with the Kanata Telescope. I. Correlations between Flux, Color, and Polarization
著者 : Yuki Ikejiri, Makoto Uemura, Mahito Sasada, Ryosuke Ito, Masayuki Yamanaka, Kiyoshi Sakimoto, Akira Arai, Yasushi Fukazawa, Takashi Ohsugi, Koji S. Kawabata, Michitoshi Yoshida, Shuji Sato, and Masaru Kino
出版年等 : Vol. 63(2011), pp. 639-675.
- ・論文題目 : Asteroid Catalog Using AKARI: AKARI/IRC Mid-Infrared Asteroid Survey
著者 : Fumihiko Usui, Daisuke Kuroda, Thomas G. Mueller, Sunao Hasegawa, Masateru Ishiguro, Takafumi Ootsubo, Daisuke Ishihara, Hirokazu Kataza, Satoshi Takita, Shinki Oyabu,

Munetaka Ueno, Hideo Matsuhara, and Takashi Onaka
 出版年等： Vol. 63(2011), pp. 1117-1138.

- ◇ 研究奨励賞 [3氏]
 - ・奥住 聡氏：東京工業大学・准教授
 研究の表題：「微惑星形成を中心とした惑星形成に関する理論的研究」
 - ・小野宜昭氏：東京大学宇宙線研究所・助教
 研究の表題：「銀河進化と宇宙再電離の観測的研究」
 - ・田中雅臣氏：国立天文台理論研究部・助教
 研究の表題：「重力波天体の電磁波放射に関する研究」

VI. 助成金（定款第2章第5条5、7、9項に該当の事業）

- ◇ 早川幸男基金：

若手天文研究者の海外での研究活動のための渡航・滞在費の補助として早川幸男基金選考委員会の選定に従い20名（第89回～第92回）に対して総額約418万円の援助を行なった。
- ◇ 学術交流費（学生の年会参加旅費補助）：

賛助会員会費をもとに、大学院生などが秋季年会（甲南大学）、春季年会（首都大学東京）に参加して研究発表をするための一部補助を行った。（発表者：36名、総額84.1万円）
- ◇ 内地留学奨学金：

該当者なしのため支給を行わなかった。

VII. 後援事業等（定款第2章第5条8項に該当の事業）

国際・国内シンポジウムなどの共催3件、後援12件、協賛12件を決定した。

承諾日		事業名	宛先（代表者）
4/20	後援	第29回天文教育研究会（2015年天文教育普及研究会年会）	第29回天文教育研究会実行委員会
4/24	協賛	第34回レーザーセンシングシンポジウム	レーザーレーダ研究会
5/1	後援	青少年のための科学の祭典2015	日本科学技術振興財団
6/5	共催	第59回宇宙科学技術連合講演会	日本航空宇宙学会
6/12	後援	一般相対論誕生100年記念市民講演会	一般相対論誕生100年記念市民講演会委員会
6/22	後援	三鷹の森科学文化祭「みたか太陽系ウォーク」	三鷹ネットワーク大学推進機構
6/23	後援	八重山高原星物語2015	八重山高原星物語実行委員会
6/26	協賛	女子中高生夏の学校2015～科学・技術・人との出会い～	国立女性教育会館
7/7	協賛	国際シンポジウム「大型レーザーによる高エネルギー密度科学研究の新展開」	日本学術会議、大阪大学、ローレンスリバモア国立研究所
7/14	後援	第13回高校生科学技術チャレンジ	朝日新聞
7/22	共催	ビッグデータやデータサイエンスに関わる学生/研究者、企業の異分野異業種交流会	知的人材連携センター
7/22	協賛	第31回京都市賞記念ワークショップ（基礎科学部門）	稲盛財団
7/29	後援	第16回こどものためのジオ・カーニバル	こどものためのジオ・カーニバル企画委員会、大阪科学振興協会
8/4	協賛	第1回天体写真技術セミナー	日本写真学会

8/5	後援	企画展「アインシュタイン展」	東京理科大学近代科学資料館
8/12	協賛	日本地球惑星科学連合2016年大会	日本地球惑星科学連合
9/15	後援	平成27年度「三鷹・星と宇宙の日」	自然科学研究機構国立天文台
9/24	協賛	Optics & Photonics Japan 2015	Optics & Photonics Japan 事務局
10/20	後援	第5回可視赤外線観測装置技術ワークショップ	可視赤外線観測装置技術ワークショップ実行委員会
10/27	共催	私立中高理系教員選考会	日本物理学会
10/29	後援	京都産業大学益川塾第8回シンポジウム「科学への夢とロマン 地球と宇宙のこれから」	京都産業大学、読売新聞社
11/24	協賛	RDA総会・データシェアリングシンポジウム	科学技術振興機構
1/20	協賛	第41回光学シンポジウム	日本光学会
1/21	協賛	可視化情報全国講演会	可視化情報学会
2/1	協賛	第44回可視化情報シンポジウム	可視化情報学会
3/31	協賛	日本流体力学会 年会2016	日本流体力学会
3/31	後援	科学教育研究協議会 第63回全国研究大会	科学教育研究協議会

VIII. 外部の各賞・研究助成等への推薦（定款第2章第5条7項に該当の事業）

外部の各種の賞および研究助成に対し、天文月報・学会ホームページで候補者を広く募り、会長・副会長が中心となって選考した上で学会としての正式の推薦を行った。（山田科学振興財団研究援助 1件、東レ科学技術研究助成 1件、東レ科学技術賞 1件、井上学術賞 1件）

IX. 全国同時七夕講演会の開催（定款第2章第5条4項に該当する事業）

7月7日の七夕の日や、8月20日の伝統的七夕の日を中心とし、6月末～9月上旬に全国同時七夕講演会を国内104ヶ所で開催した。参加者は延べ約3,000名であった。

X. 事務所活動（定款第1章第2条）

日本天文学会事務所では、事務長を含む常勤職員2名と7名の非常勤職員により、本会の各事業に関する業務活動を行った。

会 員 数

2016年3月31日現在の会員数は以下の通りである。

	正会員(内学生)	準会員	団体会員	賛助会員	合 計
2015年3月31日	1,866(337)	1,135	38	43	3,082
入 会	217(192)	31	1	0	249
退 会	△105(39)	△68	0	△2	△175
移 籍 (増)	4(1)	16	-	-	20
移 籍 (減)	△16(4)	△4	-	-	△20
正会員へ (学生減)	△(56)				
2016年3月31日	1,966(431)	1,110	39	41	3,156

（注：移籍とは正会員、準会員との間の移動のことを指す）

（文責 庶務理事：山下卓也）